

# はばたけ

№ 24

松木隆憲等の自立委員会  
 発行責任者 中山全史  
 発行所 18 252-23-3246  
 発行日 1982. 6. 20

私達は  
 障害者が破壊の人々と共に  
 いざいざと生活していける  
 「村づくり」をすすめてい  
 ます。

## 十六回定期総会を終えて。。。。 自立の公会長 中山全史

会員の皆様、たいへんご無沙汰して  
 びりました。本会の機関誌『はばたけ』  
 が一年余り発行出来ませんでした。  
 本当にこの迷惑をおかけしました。  
 本年からは、総会でも決定しましたよ  
 うに、三人体制で皆様のもとに活動報  
 告が出来ますよう頑張つてまいります  
 ので、是非ともご支援をいただけます  
 ようお願い致します。

尚、四月二十六日に行なわれた「第  
 六回定期総会」には、約二十五名が参  
 加。九十一年度の事業経過報告と、九  
 十二年度の事業計画案が承認されまし  
 た。(議案書を参照ください。)

さて、昨年来より法人格福祉施設の  
 建設、本会を含め栃木市の福祉団体  
 建設が努力して参りました。その報  
 告をいたします。

栃木市に市民に開かれた法人格福祉  
 施設を建設することは、本会の願いで  
 した。平成六年を目標に調査会を開催  
 し、市民との合議をすべく諸問題を検  
 討しております。現在までに、栃木市  
 今泉町の保健福祉センター北側に、栃  
 木市がすでに土地を購入致しました。  
 スペース的には狭いのですが、施設を  
 二階建にすることで床面積を増す計画  
 で、平面図の検討、理事者の検討、建



(ウフヘッス)

いうなれば、仕事が出来ることが入  
 所に必要であるとの論議でした。しか  
 し、毎日の作業、利用者の健康と豊か  
 な生活を送るために必要な資金を得る  
 ための授産課目については、これから  
 の課題となっています。

現在あがっているのは、線香の箱詰め  
 、軽作業が主たるところで。本人の  
 発達を顕う立場で議論がされるよう、  
 具体的な提案が必要と痛感しました。  
 また、本会でも、人所できない方々の  
 ためにも力をいれる必要があります。

## 共作連才十五回総会に参加して

新沢 修



五月二十四日、共作連第十五回総会  
 が東京で開かれました。全国から百八  
 十余人の参加が集まり、活発な意見  
 交換が行なわれました。本年は「国  
 連障害者の十年」の最終年にあたり、  
 共作連にとっても結成十五周年にあ  
 たる年である。全国の障害者運動の現状  
 を見ると、行して順調に行っていない  
 ような気がする。全国的に小規模作業  
 所が増えているけれども、そこで働き  
 たくもない障害者がまだまだた  
 くさんいる。とくに重度障害者は中々  
 入れない状態である。

一人でも多くの障害者の願いをかな  
 えるためには、私たちの運動が大切だ  
 と思う。いま共作連は、会員はあまり  
 増えていない状態である。入会する人  
 も多いが、退会する人も多いという。  
 共作連の運動はすばらしいと言おうが  
 たくさんいるけれども、協力してくれ  
 る人は少ないという意見もあった。  
 全国的に見ると、まだまだ浸透しきれ  
 ていないように思う。経済大国と言わ  
 れながら、福祉の面では世界の後進国  
 と言われる日本。一日も早く、福祉大  
 国と言われるように願うものである。

## 日曜作業所に参加して

鈴木 順子

四月の第一日曜日、初めて日曜作業  
 所に参加しました。夫と子連れでの参  
 加でしたが、事務所の手掃除、カバかけ  
 みがき、そしてお昼のケーキ作りと楽  
 しい一日を過ごす事が出来ました。息  
 子(8ヶ月)の相手になってくれた末  
 央ちゃん。私など力があるのに中々う  
 まくみがけず、芹沢さんの根気の良さ  
 には敬服していました。そして、  
 食後のケーキ作りもとてもおもしろ  
 かったです。

でも、ちよびり残念だったのは参  
 加者が少ないことと会場が狭いこと  
 もあった。たくさんの仲間たちが集ま  
 った人も、家族もボランテイアもが  
 集まったら、オシャベリにも花が咲く  
 し作業の能率も上がるし、何より元氣  
 になれますよね。作業の種類も少し増  
 やして、休み時間には歌を歌ったり  
 ゲームをしたりもいいのじゃないかし  
 ら。普段と違った人たちに会って、い  
 つもと違った表情を見せる仲間たち。  
 新しい発見のある楽しい日曜作業所に  
 又、おじゃまします。

☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
6 / 2 1	バザー	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
7 / 中旬	じゃがいも掘り	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
8 / 2 1	夏休み生活訓練 (いわき)	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
~ 2 2		☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
10 / 9	栃木蔵の街音楽祭・バザー	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
~ 9 1		☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
10 / 下旬	きのこと (くりたけ) 狩り	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
11 / 1	赤旗まつり・ outlet	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
~ 3		☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
12 / 2 0	クリスマス会	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

今後の日程

\*毎月第一日曜日に日曜作業所を行なってます。  
事務所 (ゆうの家) にお越し下さい。

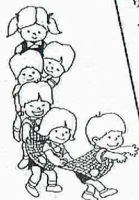
次号からは、菅井 真さん (共作業  
調査研究委員長・こぶし作業所) に依  
頼している速報物  
「村づくりに」考  
を載せる予定です。  
えうご期待!

ゆうの家

皆さん、「ゆうの家」をご存じですか。2年前柳橋町に開設した事務所兼店舗の名前です。仲間 (障害者) や会員がいつでもやってきて楽しく集えるという意味です。友だちの「友」、優しさの「優」、遊びの「遊」をイメージして名付けました。

現在2人の仲間が、仕事をしたり、おしゃべりをしに来たりしています。ここは、とても楽しいと言ってくれます。よくわからないけれどなんとなく楽しいと言います。毎日来ていと思うようです。でも受け入れる側の態勢ができていない状態です。  
皆さん、一度「ゆうの家」に遊びに来て見ませんか。そしてお手伝いをして下さいませんか。

インターネットショップを購入しました。仲間たちと一緒に共作業パソコンを作ってくださいませんか?



楽しいのは感動  
楽しかに潮干狩

殿塚ワイ子



しかし、掘っても掘っても、砂の入りた貝ばかり、捕れない!!。二時間近く掘っても5、6個がやっと。その横で「あつた!!あつた!!」と叫んで無心で貝殻を拾うはる恵。網いっぱいの貝殻家まで持つ帰るつもりが、残念ながら貝の収獲はなかったが、

参加して、それ以上に大きな収獲 (感動) を得ました。それは、障害者にとりまくスタツフの素晴らしい。みなさんが旅慣れたことはもちろんのこと、それ以上に、ボランティアの人達、民生委員がボランティアとして参加していることにも驚いた。そういった人たちの連携プレーがしっかりと固まっていることです。  
ところで、はる恵の拾った貝殻、しっかり家まで持つ帰りました。おとうさんに「たたくで拾って来たね」とほめられて、上機嫌でした。「また行くうね!!」と、もう来年の約束です。

ご協力ありがとう  
ごじょういしに。(梅村)

金坂 雅子・北島 昌幸  
高橋 美代・かみや  
中島 ハル・浪辺 幸子

